

長谷川和夫先生を偲んで

長谷川和夫先生（聖マリアンナ医科大学名誉教授）が2021年11月13日に老衰のため永眠されました（享年92歳）。

先生には、日本認知症ケア学会の発起人として、顧問・名誉会員として、学会の発展にご尽力いただきましたことに感謝申し上げますとともに心からご冥福をお祈りします。

長谷川先生という認知症研究のひとつの大きな光を失うことは、大きな悲しみですが、先生は、研究者や実務者を多く育てられました。先生の遺志は先生が育てられた研究者や実務者、さらには先生に救われた認知症の人々その家族に引き継がれ、これからも学際的な研究の推進、ケア技術の教育、社会啓発活動が行われ、豊かな高齢社会を創造していくことにつながっていくと信じています。

また、日本認知症ケア学会は、認知症ケア研究を究め、教育体制を確立し、社会に寄与できるよう努めていくことをお約束いたします。心からご冥福をお祈り申し上げます。

一般社団法人日本認知症ケア学会
理事長 繁田 雅弘
役員一同



故 長谷川 和夫 先生 ご略歴

1974年に長谷川式簡易知能評価スケールを開発、1986年に日本老年精神医学会を創設し、1989年に日本初開催となる国際老年精神医学会を主催、2000年日本痴呆（認知症）ケア学会の創設に尽力するなど、認知症研究を牽引。認知症の研究、診療の第一人者であり、パーソンセンタードケアの普及、ケア職育成に尽力

【略歴】

1969年7月～1972年8月	東京慈恵会医科大学 助教授
1972年9月～1973年3月	東京都老人総合研究所心理学部長
1973年4月～1993年3月	聖マリアンナ医科大学 教授
1993年4月～2005年3月	同大学学長～理事長
2005年	瑞宝中綬章受章。
2005年4月～2009年5月	認知症介護研究・研修東京センター センター長
2009年6月	認知症介護研究・研修東京センター名誉センター長